

事務事業名	農道保全対策事業負担金(池月・平成地区)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	農林道G	課長名	宮川 勝
	施策名	(34)農業の振興	担当者名	今岡 久	電話番号	0854-40-1053 (内線) 2401
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 6 項 目 中事業 中事業名 0 5 6 5 3 7 農道保全対策事業負担金
	基本事業名	(097)農業基盤の整備・保全	目的:対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (      年度～ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H30 年度～ R5 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業主体は島根県 非常用設備の設置が義務付けられている500m以上のトンネルは、雲南市農道トンネルで池月トンネル(H7竣工)・平成トンネル(H11竣工)の2トンネルであるが、いずれも非常用施設の老朽化が進んでいる状況。 この事業は、前述トンネルの老朽化対策を進めて行くための島根県への調査費負担負担率:50% R2年度から対策工事実施設計、R3からR5にかけて対策工事完成を目指す。  全体事業費:285,500千円 市負担率:25.0%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 事業費調整(負担金支出)、地元調整	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 事業費調整(負担金支出)、地元調整				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 地元調整	回	2	3	0	2
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	池月・平成トンネル	ア 対象トンネル数	箇所	2	2	2	2
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	老朽化した設備を更新することにより、安心安全な通行が可能になる。	ア トンネル調査	箇所	2	2	0	0
イ 実施設計		箇所	0	0	1	1	
ウ 工事進捗率		%	0	0	3	7	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)	
池月・平成地区 事業費:9,500千円 市負担:2,375千円(25%負担) 地方債(過疎)	事業費	財源内訳	千円				
		国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円			2,300	2,500
		その他	千円				
	一般財源	千円	1,499	500	75	0	
	事業費計(A)	千円	1,499	500	2,375	2,500	
人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1		
	延べ業務時間	時間	10	50	20		
	人件費計(B)	千円	43	212	84		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,542	712	2,459		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
R2年度から2箇所の実施設計を予定していたが、設備製品は毎年更新されるため、1箇所ずつ完了させる計画とした。 1箇所目 平成トンネル 2箇所目 池月トンネル	特になし。	特になし。

事務事業名	農道保全対策事業負担金(池月・平成地区)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	トンネル調査を県が実施主体となり、その費用について市が負担率により支出するもの。専門的知識を必要とする事業への負担であるので現在より良いやり方は無いと考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	道路構造物を適正に維持していくのため必要不可欠な事業への負担金支払いである。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		県営事業であり、他に類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		緊急性の高い2か所を選定し対策をとるものであり削減の余地は無い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		農道は農畜産物を輸送する重要な路線であるとともに農業集落を結ぶ生活道路である。橋梁・トンネルの点検を行い、個別施設計画を策定することで適正な管理が行え、如いては農業の生産性の向上や定住につながるため必要である。
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
	県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		